

送配電システム整備計画【カーボベルデ】

施策所管局課 国別開発協力第三課
評価年月日 令和4年4月

1 案件概要	
(1) 供与国名	カーボベルデ共和国
(2) 案件名	送配電システム整備計画
(3) 目的・事業内容 (注) 閣議決定日、供与条件などを含む	<p>カーボベルデの6島において、送配電線の新設、増強及び劣化更新により電力供給の安定化及び電力へのアクセス改善を図り、もって同国国民の生活環境の向上及び同国経済の活性化に寄与するもの。また、送配電ロス低減及び電化村落の電化による温室効果ガス排出削減により気候変動の緩和にも寄与する。</p> <p>案件の内容</p> <ul style="list-style-type: none">・送配電線の新設、増強および劣化更新（送電線約360km等）・監視制御システム（SCADA）調達および据付・工事用資機材調達・コンサルティングサービス <p>ア 閣議決定日：平成24年3月30日 イ 供与限度額：61.86億円 ウ 金利：0.3%（コンサルティングサービスについては0.01%） エ 償還（据置）期間：40年（10年） オ 調達条件：一般アンタイト</p>
2 事業の評価	
(1) 経緯・現状	<p>ア 社会ニーズの現状 本事業計画当初、送配電施設の設備容量の不足、老朽化による送配電ロスが発生しており、送配電網の整備が必要となっていた。本事業では地方電化率を2010年の85.4%から2018年に89.5%まで引き上げる目標を設定していたが、2019年には95.9%を達成した。また、電力消費量についても、計画当初（2010年）の186.9GWhから2020年には395.2GWhと大幅に増加している。そのため本計画の当初予定事業の実施により、期待されていた社会的ニーズは満たされていると判断される。</p> <p>イ 事業遅延に関する経緯・現状 特段遅延は生じておらず、2020年7月に予定通り整備を完了した。カーボベルデ政府の要望を踏まえ、2024年2月まで貸付実行期限を延長し、本事業で整備した送配電線の監視制御（SCADA）システムの拡張及び補強を追加で実施中。本追加事業の進捗に特段問題は生じていない。</p>
(2) 今後の対応方針	実施中の追加工事に遅延は生じておらず、2023年9月頃までに完工予定。着実な完工に向け、進捗管理を継続する。
3 政策評価を行う過程において使用した資料等	<ul style="list-style-type: none">・交換公文・外務省の約束状況に関する資料及び案件概要・国際協力機構の案件検索・国際協力機構の事業事前評価表・そのほか国際協力機構から提出された資料